

スポーツ リカバリー プログラム  
東日本大震災 大船渡レポート  
2011年4月16日～17日

2011年4月16～17日、NPOグローバル・スポーツ・アライアンス（GSA）【※1】副理事長・岡田直子、事務局長・大窪健司、そしてボランティアスタッフ1名は大船渡市教育委員会と連携しスタートしたスポーツ リカバリー プログラム【※2】の第一便をお届けするために岩手県大船渡入りをしました。皆さまからご寄付いただいたスポーツ用品をはじめとする支援物資を届けてまいりましたので、ここにご報告いたします。

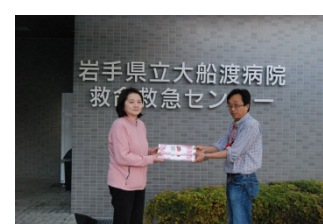
岩手県立福祉の里センター

4月16日、大船渡に到着すると最初に、避難所にもなっている福祉の里センターへ向かいました。ここには80名の被災者が避難しておりお風呂を被災者に開放したり情報の提供・支援物資の配布と、被災者の生活拠点として機能しています。GSAからは運動靴をはじめ、衣類、お米、そして不安定な被災地での生活による事件・事故を未然に防ぐため、子どもたちへ防犯ブザー、また同時に、今回GSA武蔵野(株式会社イングコーポレーション)のチームメンバーにより、飲料水が搬入されました。ここからGSAナビゲーター鶴浦真紗子さんがリーダーを務める大船渡サポートセンター（OSN・C）によって必要とされるところに配られます。



大船渡市警察署 消防署 大船渡病院へ

大船渡消防署と警察署を訪問し、大地震以降休まることなく大船渡の復興に向けて職務をこなす皆様へ羊羹とチョコレートを差し入れました。



## 大船渡市役所にスポーツ用品を搬入・寄贈

GSAのスポーツ・リカバリー・プログラムとして大船渡教育委員会にスポーツ用品を搬入しました。偶然地元の被災者が臨時で市役所内に開設したFM局「おおふなとさいがいエフエム」に、GSAナビゲーターのTUBEのメンバーが番組内で被災者の方々へ向けで作られた「RESTART(リスタート)」を紹介するためかけつけていました。

放送終了後、TUBEから大船渡市教育委員会教育長今野洋二様にGSAを代表し、GSAネットワークで集めたスポーツ用品をお渡ししました。今野教育長も大変喜んでくださり、ご寄付いただいた皆様への感謝のお言葉をいただきました。教育長からは1か月が経過した学校・児童の現在の様子をうかがい、今後のSRPによる活動の方向性について話し合いました。まずは4月20・21日から始まる学校生活では、避難所・仮設住宅の建設予定地となっている学校での体育の授業や部活動、運動会の開催などの問題があります。子どもたちが限られた環境の中で思いっきり体を動かし、スポーツが楽しめるようGSAとしても最大限の協力をしていくことをお約束しました。



提供者たちのメッセージと共に



## 公民館にて交流会・宿泊

地元公民館で、OSN・Cのメンバーである新潟県の救助隊の早川さんや危機管理アドバイザー国崎さんと千葉県など被災地の行政をつなぐ活動をされているメンバー、大阪からの消防関係者などそれぞれの分野から見た被災地の現状、そしてこれからの活動について意見交換し、今後の復興へ向けた活動への連携を強めました。



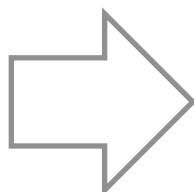
## 避難所の子供たちに遊具を

2日は避難所になっている大船渡市立猪川小学校を訪問し、縄跳びやソフトフリスビーなど、避難所となっている体育館でも子どもたちが簡単に遊べるスポーツ用品を寄贈しました。



## 仕分け作業をお手伝い

その後数名の職員で業務をこなしながらの仕分け作業が思うように進まないとのことで、時間の許す限りGSAが搬入した物資やまだ手つかずの物資の仕分けをお手伝いしました。



この『スポーツ・リカバリー・プログラム』を通じて、長期的に支援を継続してきます。特に今後は学校が始まると出てくるなどさまざまな問題点を解決していくための協力をして参ります。これからも現地の関係者と連絡を取り合いながら、状況に応じた活動を行ってまいります。

【※1】 NPOグローバル・スポーツ・アライアンスはスポーツを通じて環境問題に対する意識改革を行う世界的ネットワークです  
理事長 三浦雄一郎  
[www.gsa.or.jp](http://www.gsa.or.jp)

【※2】 スポーツ・リカバリー・プログラムはGSAの活動の一環である災害時にスポーツを通じて心のケアを目指すプログラムです  
[www.gsa.or.jp/srp.shtml](http://www.gsa.or.jp/srp.shtml)

NPOグローバル・スポーツ・アライアンス  
〒155-0032 東京都世田谷区代沢1-29-34-104  
TEL03-5432-0200 Fax03-5432-0201